



KUMAMOTO

# GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international

R.I. 会長テーマ

『ロータリーのマジック』

R.I. 会長 ステファニーA.アーテック

2024～  
2025年度  
テーマ

R.I.2720地区テーマ

『寛容な心でロータリーの未来、  
そして若者の未来を考えよう』

R.I. 2720 地区 ガバナー

三村彰吾

熊本G.R.C.テーマ

『ロータリーに目的を持ち  
人生を豊かにしよう』

熊本グリーンRC会長 宮部康弘



■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30  
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：宮部康弘 ■幹事：河島一夫 ■会報担当：田中慎二  
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー  
第2720地区

## 熊本グリーンロータリークラブ週報

第 1562 回

2024 - 2025 年度 第 37 回

令和 7 年 6 月 2 日

【例 会】

1. 閉会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

- ・「君が代」
- ・「友と語ろう」（グリーンRCの歌）

来訪者紹介（宮部康弘会長）

- ・ビジター  
熊本中央RC 田尻晋哉 会員
- ・熊本グリーンローターアクトクラブ  
久保山慧美 会長

友情の握手

会長挨拶（宮部康弘会長）

皆さま、こんばんは。本日は私が5月16日・17日に大阪・関西万博を訪れ、多くの技術展示の中で、未来のエネルギーに関するブースで感じた事を2つ共有させて頂きます。

WIND HUNTER

～風が運ぶ、海のエネルギー～

最初にご紹介したいのが、『WIND HUNTER』と呼ばれるプロジェクトです。これは、風の力だけで航行しながら、海水を使って水素を生成するという、まさに動く“発電所”です。会場では、大型の模型とともに、うちわで風を送ると帆が動き、発電が始まるという体験展示がありました。風の力で走り、電気を生み、水素をつくり、そしてまた風がなくなったらその水素で進む。これが実装されるならエネルギー世界のゲームチェンジャーになるだろう、と感じました。

蟻酸で動く、静かなエネルギー革命

次にご紹介したいのが、蟻酸を活用した水素発電技術です。蟻酸、つまりアリの体内にも含まれる有機酸を液体として扱い、必要に応じて水素を取り出して発電する方法です。万博の展示では、実際の発電機や説明パネルがあり、常温で運べるこの技術が、災害時や移動体での電源に活かされる可能性を知りました。従来の水素のように高圧容器を必要とせず、

グリーンロータリー・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。  
というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

卓 話 予 定

- 6/9 「次年度 第2回クラブ協議会」 ★次年度各委員長より委員会活動計画発表
- 6/16 会長・会長以外・副会長・幹事・SAA・6常任委員長 退任挨拶
- 6/23 「夫婦会・歳祝会」（於：フランス料理「七彩」）
- 6/30 定款第7条量第1節に基づき例会取り止め（休会）

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

安全かつ効率的。とても現実味のある未来の技術だと感じました。

私が見学できたパビリオンはわずかですが、その中で感じたのは水素を活用した社会に私たちは向かっている、という事です。もし風や自然由来の物質から電気を生み出し、それを生活に活かす事が可能となれば世界からエネルギーを奪い合う争いが無くなっていくのでは、と期待が膨らみました。大阪万博、ぜひ皆さんも訪れてみてはいかがでしょうか。未来を見に行くことは、私たち自身の行動を考え直すきっかけになります。それでは本日もよろしく願いいたします。

### 幹事報告 (河島一夫幹事)

#### ■報告事項 (その他のロータリー関係)

#### ①規定審議会報告会・クラブ活性化ワークショップ開催のご案内

4年に1度アメリカで開催されます「規定審議会」の報告会と次年度会長・幹事懇談会(通称：居酒屋ミーティング)で各クラブより寄せられた課題の解決を図る場として企画されております。

日時：2025年7月26日(土) 12:30~16:40

場所：ホルトホール大分

出席対象者：次年度会長・幹事・会長エレクト

#### ②「2025学年度第1回米山部門セミナー」のご案内

日時：2025年7月19日(土)・20日(日)の2日間

19日(土) 13:00~/20日(日) 11:30(閉会)

場所：羽田多目的交流館

出席対象者：次年度会長・次年度米山奨学委員長

#### <例会変更・取り止め>

#### ●例会取り止め

[熊本西南RC]

6月26日(木)の例会は、クラブ定款に基づき、取り止めます。サイン受付は行いません。

### 出席報告

(山口悦史 クラブ管理運営委員 (出席担当))

	会員総数	20名	出席率
6月2日	出席免除会員数	0名	55.00%
	計算上会員数	20名	
	出席会員数	11名	
5月5日	前回出席会員数	名	休会
	メイクアップ数	名	
	修正出席会員数	名	
メイクアップ済会員及メイクアップ訪問先			
なし			

### スマイル (山下佳介スマイル担当)

#### ●宮部康弘君

「熊本中央RCの田尻様、熊本グリーンロータリーアクトクラブの久保山様のご来訪、心より歓迎致します。田尻さんは私の友人です。皆さんどうぞよろしくお願い致します。」

#### ●田尻晋哉君 (熊本中央RC)

「熊本中央RC所属の田尻と申します。宮部会長、1年間お務めご苦労様でした。」

#### ●河野景治君

「本日は熊本グリーンロータリーアクトクラブの活動報告。久保山会長よろしく申し上げます。いつも例会に参加させて頂きありがとうございます。感謝のスマイル申し上げます。」

#### ●山口悦史君

「本日は久保山会長の活動報告よろしくお願い致します。」

#### ●田上裕章君

「昨日、三角港に停泊中のプレジャーボートを大津町の方に見て頂き、本日連絡があり、譲る事になりました。良い人でしたのでホッ

としました。次はヨットにトライしようと思います。」

### ●山下佳介 君

「本日の卓話者、ローターアクトの久保山様に心から感謝します。又、当クラブへのメイキャップ来訪者、熊本中央RCの田尻様を歓迎致します。」

## 3. 例会プログラム

卓話者 久保山慧美 氏

熊本グリーンローターアクトクラブ 会長

演題「熊本グリーンローターアクトクラブ  
活動報告」



久保山慧美 会長アクト会長

### 2024-2025 年度 活動報告

熊本グリーンRAC 会長 久保山 慧美

こんばんは。熊本グリーンローターアクトクラブ（以下、RAC）会長の久保山です。本日は合同例会にお招きいただき、誠にありがとうございます。皆様におかれましては、日頃から絶え間ないご支援を賜り、そして、昨年度に続き開催する「第2回深緑の芸術展」の活動資金を補助いただき、誠にありがとうございます。また例会にも毎回メイキャップいただき、お陰様で少人数ながら良い緊張感を持って例会を開催できております。

本日は年度末の活動報告を行います。よろしくようお願い申し上げます。

1. 会員紹介 当クラブは現在、会長兼会計久保山 慧美、クラブ幹事兼地区社会奉仕委員長 緒方 理彩の2名で活動しております。

そして2025年3月に、堀さんという方がボランティア募集サイト「Activo」を通してご入会くださったのですが！つい一昨日、退会されてしまいました。この方は、例会見学前にZoomで事前説明会を開いたときに入会を決意されたのですが、現地開催をした他クラブ合同例会とZoom開催の通常例会へ参加された後「仕事と育児をしながら続けるのが難しい」とのことで、退会されてしまいました。

当クラブは引き続き、「Activo」にて会員を募集しております。現在も見学希望者に対応中ですので、吉報をお届けできるよう随時方法を見直しながら頑張ります。

### 2. 活動報告

今期、当クラブはクラブターゲットを「Re:Try」と定め活動してきました。今、私がここに立っている、ここに至るまでには、ロータリー、ローターアクトという国際的な奉仕団体の、熊本グリーン RAC というクラブの、そして各会員の、様々なトライ：挑戦があったからこそだと思います。これまでのトライ（挑戦）にこたえる年にしたい、ということでこのターゲットにしました。

例会は、毎月第2・4水曜に、Zoomを使ったオンライン開催をメインに開催しております。

#### ◆熊本グリーン RAC 例会開催情報

日時：毎月第2・4水曜 20：00（～21：00）

例会場：Zoom ミーティングでの開催がメイン  
※毎回同じID・パスワードを使用

（ミーティング ID: 648 755 2746 パスコード: 2720）

今期私は「会長の時間」に、メインプログラムと同じくらい力を入れており、「ロータリーの友」記事を紹介したり、記事から派生しロータリーの歴史について話したりしています。

## ○クラブ活動

熊本グリーンロータリークラブ（以下、RC）合同で開催した 2 月第 1 例会以降のメインプログラムについてご紹介します。

・**2 月第 2 例会**は、緒方担当にて、深緑の芸術展へ向けて自己表現と作品のアイディア出しを目的にコラージュ体験例会を開催しました。コラージュとは、写真等の載った新聞や雑誌を切って貼り合わせ、ひとつの作品にしたものです。コラージュの基本解説と作品紹介後、参加者それぞれが自由に制作に取り組みました。個性豊かな作品が生まれ、互いの新たな一面を知る機会となりました。



・**3 月第 1 例会**は久保山が担当し「ポリオとロータリー例会」を行いました。4 月の「地区大会」で、緒方がアクトブースとポリオ募金箱の担当を控えていたため、それに向けてポリオの歴史や、ロータリーがポリオとどのように闘ってきたかをクイズ形式で学びました。メインプログラム準備のため調べているなかで驚いたことがありました。私が以前インターネット上の記事で見て記憶に残っていた“6 歳でポリオに罹患し、一生「鉄の肺」で生きることになると言われていたのに努力を重ね車椅子で動けるまでになり、さらに大学へ行き、弁護士として活躍したポール・アレクサンダーさん”が、ロータリー E クラブに所属されていたことを知ったのです。私も緒方も、この時間を通して、ポリオ撲滅への思いを一層強くしました。

・**3 月第 2 例会**は、緒方より「メタバースの世界」について紹介してくれました。メタバースとは簡単に言うと“インターネット上に作られた仮想空間”のことなのですが、それがどのように社会や日常生活に活用されているのか、仮想空間での交流やビジネスの可能性などについて事例を通して学びました。

・**4 月第 1 例会**では、保険業をしている私の担当で火災保険例会を開催しました。クイズ形式で、火災保険と地震保険の違い、初めて保険に入るときの注意点、定期的な保険の見直しのススメ等、引越しや新生活を始めるこの時期に知っておいてほしい、家や家財などの大事な財産を守るために必要な知識をご紹介します。

・**4 月第 2 例会**は、熊本火の国・熊本城東・熊本東南・熊本グリーン RAC 合同例会をハイブリッド開催しました。「こうのとりのゆりかご」に初めて預けられた子ども…宮津 航一さんを講師に招き、預けられてからの人生や、自ら営んでいる子ども食堂への思いなどを、明るく熱く語っていただきました。



お話を聞いていて思い出したことがあります。私が高校生の頃、校内であった「ディベート大会」です。その初戦の議題が“こうのとりのゆりかごの是非”でした。当時ゆりかごはできて間もなく、世論も賛否が分かれていました。私は「賛成」の立場で新聞記事などを調べたうえでディベートをしました。今回当事者の話を聞いて、自分は当時から今までずっと「こうのとりのゆりかご」は画面の向こう、紙面の向こう、自分とは関係ない世界のことだと思っていたことに気づき、恥ずかしくなりました。

卓話を企画した熊本東南 RAC の宮田真二会長（2024-2025 年度地区ローターアクト代表）は子ども支援への興味が強く、宮津様の子どもの食堂支援も予定しているそうですので、当クラブも協力したいと考えています。

・**5 月第 1 例会**は緒方担当で「深緑の芸術展」に向けて「印象派例会」をしました。印象派の絵画をテーマに、自分自身ならどのように描くかを考えました。印象派の代表的な画家の作品を紹介し、歴史的背景や特徴、従来の写実主義からの脱却やモチーフの捉え方について学びました。

・**5 月第 2 例会**は久保山が担当し、次年度のローターアクト（以下、RA）名刺に入れる用に似顔絵を描く「似顔絵例会」をしました。今期、似顔絵例会で描いた絵を名刺に入れたところ思いのほか評判が良く、会話のきっかけにもなったので味をしめ、次年度も似顔絵入り名刺で行こうと思い、企画しました。例会では、似顔絵の書き方を説明しながら実際に似顔絵作成にトライしていただきました。皆様本当に良く特徴をとらえて描いてもらっていました。今回描いた似顔絵は、次年度の RA 名刺に入れたいと思います。



## ○ RA 地区行事

また、当クラブは RA 地区行事にも積極的に参加しております。

・3月8日、大分県大分市で「第2回会長幹事会」が開催されました。ガバナー 三村彰吾様や、ガバナーノミニー延岡研一様、ガバナー・ノミニー・デジグネート 芳崎一郎様にもご参加いただき、限られた時間ながら、地区の運営に関する協議・決議を行いました。

・同日の午後、ロータリー地区行事「PETS」に久保山と緒方の2名で参加してきました。PETS で特に心に残ったのは、「会長の時間」はなぜ大事なのか？というお話です。「会員は、忙しいのに参加をしている。何かのために。それは充実した例会プログラムであり、また心洗われる会長のスピーチである。例会の時間を価値あるものにするため、会長の時間のポイントとして ①会長の人柄が伝わる②ロータリー情報や会長が感動した事③時間は5～10分に収めることが大事だ」という話があり、たいへん勉強になりました。

### 3. 今期の振り返り

当クラブは、クラブターゲット「Re:Try」を掲げ活動してまいりました。これまで積み上げられてきた様々な「Try」にこたえられたらどうかと、一年を振り返ってみます。

●ロータリー、ローターアクト：歴史やこれまでの活躍について学び直し、これからの活動に活かす。…こちらの評価はマル○、としたいと思います。「会長の時間」での学び直しによって、緒方や自分自身の理解が深まっていることを実感しています。

その一方で、過渡期にあるローターアクトの変化に着いていけないように感じています。頭を柔らかくして物事に向き合っていきたいです。

●熊本グリーン RAC：会員増強、提唱 RC との関係強化、「深緑の芸術展」、クラブ活動費の捻出、次年度「国際交流会」の準備

…甘く評価してサンカク△、バツ寄りのサンカクです。活動費の捻出や「第2回深緑の芸術展」の開催へトライはできましたが、急務であった会員増強で結果が出せませんでした。今回、見学者は増えたものの入会に繋がらなかったり入会して約2か月で退会する会員が出たりする等、会員増強の難しさを痛感しました。しかし、会員増強が成功しているクラブや、退会者へのヒアリングで課題も見えてきておりますので、くじけずローターアクトの魅力発信と見学者対応を行い、まずは会員5名を目指したいと思います。

●会員：もっと楽しく、効率化できるか？人とのつながりに感謝する。

なんとも言い難いところですが、マルとサンカクの間でしょうか。現在、第2720地区 RA は、各クラブ会員の大部分が入れ替わったことやコロナ禍の活動自粛により、知識を持たないために困ったり、楽しめていない会員が増えたように感じます。私は各所で「手伝えることがあったら気軽に言ってね」と言って回り、お手伝いをさせていただいています。先月も「第40回地区 RA 研修会」のホストである熊本東南 RAC & コホスト熊本火の国 RAC の準備合宿でお手伝いをしてきました。

もちろん過去と全く同じ通りにするのが常にベストという訳ではありません。時代は常に変化しています。しかし、今の RA は“知ってさえいればトラブルを防げる決まり”が、不文律のままあちこちに転がっている状態です。それではアクト歴が短い会員に不親切です。そのため私は、自分が関わった役職やホストクラブの引継ぎ時、マニュアルを作成したり注意点を添えるようにしています。知識でトラブルを回避し、出来た余裕でさらに良いものを目指してほしい、何より、アクト活動を楽しむためには余裕が必要で、その余裕を産むのは綿密な準備と正しい知識だと思うからです。あらゆるハラスメントに配慮しながら、次年度も継続していきたいと思います。

### 4. 今後の活動予定

最後に今後の当クラブの活動予定をお話しします。

○6月第2例会は、当クラブ主催事業「第2回深緑の芸術展」例会を開催します。これは、表現することを通して自身を見つめ直し、多様な価値観を知る機会となることを目指したイベントで、地区内のロータリーファミリーを対象に、絵画、彫刻、工芸、書、写真作品を募集。全作品を展示し、一般の方への PR も行う、というものです。今回の会場は、交通アクセスの良い藤崎宮前、かつ一般の方の来店があるカフェ兼アートギャラリー 不言亭～fugentei～を予定しております。

予算上の支出の部 主な科目としては、

- ・会場・設営費（ギャラリーカフェ不言亭～fugentei～レンタル料10日間分） 45,000円
- ・図録の印刷代 14,950円

等、合計80,000円を見込んでいます。

最も大きな支出である会場レンタル料についてですが、昨年度はロータリー、RA 関係者のご来場がほとんどだったため、もっと一般の方の目に触れる機会を増やすべくカフェ併設の不言亭を選択しました。今回の開催にかかる費用につきまして、熊本グリーン RC 様より、大事な周年記念誌の積立てを取り崩してご支援いただきますこと、心より御礼申し上げます。ご期待に沿えるよう、会員一同準備に励んでおります。

【支出の部】※ 2025 年 6 月現在

会場費（会場レンタル料 10 日間分） 45,000 円

事務用品費（チラシ印刷代） 1,400 円

計 46,400 円

進捗率 58 %

現時点での支出は会場レンタル料がメインですが、今後、会場設営に必要な備品や作品図録等の印刷代がかかる予定です。

「第 2 回深緑の芸術展」は、藤崎八幡宮参道沿いギャラリーカフェ 不言亭 ～ fugentei ～ にて、6 月 17 ～ 21 日、24 ～ 28 日に開催します！このイベント情報は、会場である不言亭を通して熊本日日新聞に掲載していただけるそうです。できるだけたくさんの方に来ていただきたいので、もし店舗や社内の掲示板にポスターを貼ってくださる方、周りに興味ありそうな方いらっしゃいましたらぜひお願いいたします。

次に、こちらに関連してご報告です。昨年度お菓子の香梅帯山店で開催した「深緑の芸術展」に久保山が出品したローズマリーの水彩画を、次年度の「ロータリーの友」表紙作品にお選びいただきました！2025-2026 年度 10 月号（仮）の表紙になる予定とのこと。また編集部より確定情報をいただいた際にはお知らせいたします。ロータリーの友は発行部数 85,600 部だそうです。私の拙い作品に、このような光栄なチャンスをいただけましたのも、昨年度、皆様にご支援いただき「深緑の芸術展」を開催できたからです。そうでなければ、高校以来久しぶりにチューブの水彩絵の具を買って、絵を描くこともなかったでしょう。本当にありがとうございました。

今年もギックリ腰と戦いながら頑張っております！さらに今回は、ローターアクトのみならず、前回に続き熊本グリーン RC 河野景治様、そして新たにパストガバナー 膳所和彦様やガバナーノミニー 延岡研一様等、ロータリアン様の出品が増加しております。

◆ 6 月第 2 例会「第 2 回深緑の芸術展」

会期：6 月 17 ～ 21 日、24 ～ 28 日

11：00 ～ 17：00（※最終日 16：00 迄）

会場：ギャラリーカフェ 不言亭 ～ fugentei ～

熊本市中央区南千反畑町 12-19（※作品閲覧のみのご来店も可）

「第 2 回深緑の芸術展」ご来場を、会員一同お待ちしております。

○今期最後の RA 地区行事「第 40 回地区 RA 研修会」に、久保山と緒方で参加する予定です。6 月 21 ～ 22 日の二日間、熊本市国際交流会館等で開催されます。この研修会は、一年間の集大成としてクラブ活動報告や表彰式、講演会等を行い、次年度へ向けて知識と意識を高める地区行事です。

○次年度、当クラブは RA 地区行事「国際交流会」ホストクラブをする予定です。これは RAC に実施を義務付けられている「二大奉仕プロジェクト」の内の一つ「国際奉仕プロジェクト」を全クラブ達成するために開催されている、当地区独自の RA 地区行事です。開催時期は、2026 年 1 ～ 6 月を予定しております。地区行事の開催へ向けて、会員増強と活動費の捻出にこれまで以上に力を入れていきたいと思っております。

以上で活動報告を終わります。

良いことも悲しいこともたくさんある忙しい一年間でしたが、熊本グリーン RC の皆様に優しく見守っていただき、親身になって相談に乗って支えてくださったお陰様で、なんとか会員 2 名で乗り切ることができました。

本年度も当クラブをご支援いただき、誠にありがとうございました。今後とも何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。

